

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
地理A	3	2	高等学校 現代地理A 新訂版（清水書院） 標準高等地図（帝国書院）	現代地理 A ワークノート（清水書院）
到達目標 現代世界の地理的な諸課題を、地域性・歴史的背景などと関連させて考え、地理的認識を養う。 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	・地理的事象や地球的課題を自分自身の生活と関連づけ、現代に生きる心構えを身につける。
b 思考・判断・表現	・世界の諸地域の人びとの生活・文化・歴史を関連づけて考察し、説明することができる。
c 資料活用の技能	・地図やグラフから正確に地理情報を読み取ることができる。 ・資料をもとに地図化、グラフ化することができる。
d 知識・理解	・現代に生きる国際人として、基礎的知識（用語・地名など）や基礎的概念（空間・地域など）を理解し、身につけている。
評価の方法	
各定期考查、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価とする。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	1 14	ガイダンス 第1編 第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界	○	○	○	○	10	20	第7節 北アメリカの人々の暮らし 第8節 中央・南アメリカの人々の暮らし 第9節 オセアニアの人々の暮らし	○ ○ ○	○ 	○ 	
5	30	第1編 第2章 世界の諸地域の暮らしと文化					11	15	第1編 第3章 地球課題の地理的考察				
6		第1節 自然環境と人々の暮らし 第2節 東アジアと人々の暮らし 第3節 東南・南アジアと人々の暮らし	○ ○ ○	○ 	○ 	○ 	12		【テーマ別調べ学習】	○	○	○	○
7		第4節 中央・西アジア、 北アフリカの人々の暮らし	○	○			1		第2編 第1章 日常生活と結びついた地図	○	○		
8		第5節 中・南アフリカの人々の暮らし 第6節 ヨーロッパとロシアの人々の暮らし	○ ○		○ 	○ 	2 3		第2編 第2章 自然環境と防災			○ ○	○ ○
9													
							計	70					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・プリント・ファイル・ワーク・筆記用具を準備してください。 ・忘れ物は、1校時開始前に申し出てください。 ・遅刻や欠席に関して、学校の基準以内であれば直接の減点はしません。 ・プリント提出・課題提出は期限を厳守してください。減点対象とします。 ・授業で分からなかったことは、すぐに確認しましょう。 ・プリントを穴埋めするだけでなく、疑問や考えを記入したり、不明な点は自分で調べてメモをしたり、自主的に学習しましょう。 ・毎日ニュースをしっかりと見ましょう。国内外での出来事に関心を持ち、自分の意見をしっかりと持ち、文章や口頭で表現できるように心掛けましょう。
--

